

# 人より牛が多い街の活性化

## ~Be smiling by milk 3rd season~

食品ゼミ 牛乳栄養班

### 1. はじめに

私たちの住む標茶町は生乳生産量全国2位を誇る酪農の町です。しかし、全国的に見て標茶町の知名度は近隣の釧路市、帯広市などと比較して低いのが現状です。表1は標茶町と隣接する釧路市と弟子屈町の観光客数を比較した表です。釧路市は年間530万人の観光客が来るのに対し、標茶町は11万人と観光客を誘致できていないことがわかります。

加えて、人口は1960年の18,539人をピークに減少し続けており、酪農後継者不足や高齢化が問題による生産力、地域の活力低下が懸念されています。今後もさらに人口の減少は進み、約20年後には5千人を下回るともいわれています。標茶町の現状を知り、私たちの町に活気を取り戻したい、元気にしたい、そう思い活動を始めることにしました。

表1 平成30年度標茶町及び近隣地域の観光客入込数

	標茶町	釧路市	帯広市
観光客数(千人)	108	5302	881
外国人観光客数(人)	133	148632	23381



図1 標茶町の特産品

### 2. 研究方法・研究項目

活動するにあたって標茶町の魅力を改めて考えることにしました。

北海道の東に位置する標茶町は釧路湿原全体の約65%を有し、タンチョウをはじめ、貴重な動植物を目にすることができます。特産品としてはブランド牛である”星空の黒牛”や”しべちゃ牛乳”本校で製造した”グラスランド製品”などがあります(図1)。

一方で、生乳を使用した加工品が少ないことや町外へのPRが不足していることがわかりました。そこで私たちは標茶町の魅力である乳製品の新品開発やPR活動をとおして町や製品に興味を持ってもらい、乳製品の消費拡大を目指すこと、さらに、町に来てみたいという人を増やすことで標茶町を活性化したいと考えました。

#### (1) 新品開発

乳製品やホエーの消費拡大のため、新品を開発し特産品とすることで町の活性化を図ることを目指しました。

今まで作ってきたホエーお菓子の中から、釧路プリンスホテルの方に技術指導をしていただいたホエーガトーショコラを新品にしようと考えました。しかし北星学園大学の原様から「売れている商品には、ほかにはない強みがある」といわれ、ほかにはない強みを探した結果、ガトーショコラを白くしようと考えました。

白いガトーショコラの名前は標茶町の雪原の白さから、焼き菓子を意味する「ガトー」と雪を意味する「ネージュ」から「ガトー・ド・ネージュ」としました(図2)。



図2 完成したガトーショコラ



図3 お菓子配布の様子

## (2) 校内配布

今年はコロナの影響からイベントができませんでしたが、コロナが落ち着いてきた時期と対策をしっかりしてハロウィンの校内配布と、クリスマスの校内配布をすることができました(図3)。校内配布では、乳製品やホエーの消費拡大のため、ホエーお菓子や、高校の生乳を使ったココアなどを配布しました。

## (3) ゲーム開発

標茶町の魅力をより知ってもらうために、ゲームの開発を行いました。ゲームの内容は、過去にとある闇を抱えた少年が、酪農を営む老夫婦のもとに預けられ、標茶町をモチーフとした街で様々な人との関わりを通して成長していく様子を描いたものです。

ゲーム内では、標茶高校や、標茶町の街をモチーフとした場面があります。さらに、標茶高校で行っている系列活動等の内容も含まれており、標茶町の魅力が詰め込まれています。

## (4) 中学生体験入学

今年は、コロナの影響から体験入学自体が少なくなっていました。

その中でも、二回体験入学を行うことができました。一回目は様々な学校の生徒が集まり行われる中学生一日体験入学です。そこでは、アイス作り体験やホエークッキー作り体験を行うことができました(図4)。二回目は桜が丘中学校体験入学です。ここでは、エークッキー作り体験を行いました。



図4 中学生体験入学の様子

## (5) YouTubeチャンネルの開設

今年は、コロナの影響から様々なイベントが中止になることが多くありました。そこで、家にいる人たちにに向けて乳製品の魅力を発信しようと考えました。チャンネルでは食育紙芝居の動画を発信したり、家で簡単に作ることができる牛乳を使用したレシピ動画を配信したりすることで牛乳の消費拡大に向けて取り組みました。

## (6) ハートンツリーとの共同開発

鶴居村でホエーを活用した加工品の開発を行っているハートンツリーの服部様と共同開発を行いました(図5)。服部様が販売しているホエーキャラメルと私たちが作っているホエークッキーを使用して、キャラメルサンドを開発することになりました。



図5 ハートンツリーの服部様との会議の様子

## (7) 町内施設へのアイスクリームの提供

乳製品の消費拡大を目的に、町内すべての保育園・幼稚園に高校の牛乳を使用して製造したアイスクリームを提供しました。

## (8) 文化理解ゼミ、環境ゼミとのコラボ

国際交流ゼミ、ガイドゼミにホエークッキーを提供し物資回収やガイド活動などそれぞれのイベントの際に配布してもらいました(図6)。

スポーツゼミとは共同で、町を盛り上げるためのビジネスプランを作成、ビジネスコンペティションで発表しました。



図6 ガイドゼミとのコラボの際クッキーを配布している様子

## 3. 実験結果

### (1) 新商品開発

白いガトーショコラ「ガトー・ド・ネージュ」を製造することができ、釧路湿原ノロッコ号おもてなし事業、釧路日専連文苑店で行った販売で計220個販売し多くの方に購入していただくことができました(図7、8、9)。

今後は標茶町のお店や釧路市内のお店においてもらい、より「ガトー・ド・ネージュ」を広めていきたいと思っています。



図7 販売したガトーショコラ



図8 釧路湿原ノロッコ号  
おもてなし事業にて販売をしている様子



図9 釧路日専連文苑店にて  
販売をしている様子

## (2) 校内配布

乳製品の消費拡大を目的にしていたので、たくさんの方に来ていただき、食べてもらうことができ、乳製品に関心をもってもらうことができました。コロナが早く終息し、校内生徒全体がより楽しめるような工夫をしていきたいと思ひます。

## (3) ゲーム開発

基盤は完成しており、修正を加えています。近日中に公開し、標茶町の魅力を発信できたらと考えています。

## (4) 中学生体験入学

乳製品の消費拡大及び、ホエーについての興味・関心を持ってもらうことを目的に行っていました。体験中にホエーについての説明を行いました。さらに、家でも乳製品を使ったお菓子を食べてもらうためにレシピも配布しました。今後も中学生に乳製品の消費拡大を促し、乳製品やホエーの魅力知ってもらおうと思ひます。

## (5) YouTube チャンネルの開設

たくさんの方に見ていただき、チャンネル登録者数も少しずつ増えていっています。今後も牛乳を使ったお菓子のレシピを配信していこうと思ひています。

## (6) ハートンツリーとの共同開発

服部様が販売されているキャラメルに粘度を足しクッキーと合うような工夫を行いました。町内での試食や販売はまだ行えていませんが、今後販売できるようにしていきたいと考えています。

## (7) 町内施設へのアイスクリームの提供

たくさん幼稚園生・保育園生に食べてもらうことができました。来年は規模を広げて続けていきたいと考えています。

## (8) 異文化ゼミ、環境ゼミとのコラボ

国際交流ゼミ、ガイドゼミでは町内のたくさんの方にクッキーを配布していただきました。

今後は、もっとたくさんの方と協力しより、町内の方に活動を知っていただけるようPRしたいと思ひます。

## (9) 外部評価

愛媛大学主催の社会共創コンテストでは奨励賞、NoMaps 高校生ビジネスコンペティションでは最優秀賞をいただくことができました (図10)。

さらに、農業アクション大賞では全国15グループに認定していただきました。

新聞やラジオ局など報道各社に私たちの活動を取り上げていただくことができました。



図10 NoMaps 高校生ビジネスコンペティション  
にて賞状をいただいた時の様子

#### 4. まとめ

今年度は商品開発し、販売を行いました。他にゲーム開発を行い、商品を買いに来られない遠くのお客様にも牛乳ゼミを知っていただけるツールを作成しました。他にも YouTube を活用してお家で簡単に作れるお菓子の動画配信を行いました。商品販売ではすべての商品が完売する実績を上げました。今後の課題は、町を活性化し観光客を倍増させることです。

#### 5. おわりに

共同していただいたハートンツリー様、ぽけっと様、町内の方々にお礼申し上げます。